

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	百貨店（営業販促担当）	・ロングランで行っている閉店セールが1月末までのため、最終月は来客数、売上共に大幅アップが見込まれる。新型コロナウイルス感染症の第8波も徐々に収束すると期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染症以前と比べても売上が高い水準で推移していることから、景気は徐々に回復している。今後についても、現状よりも良い状態となる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・引き続き客の動きがアフターコロナを意識したものになっていくことが見込まれることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・国外向けと国内向けの配分見直し、増産計画など、メーカーからの情報発信を踏まえると、年度内の新車登録がある程度見込めることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染対策としての人流制限なども予定されていないことから、今後、観光需要や購買行動が活発になるとみられる。そのため、観光業を中心に、今後の景気は上向きになる。ただ、小売業の状況は不透明すぎる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・メーカーが国内販売向けの生産台数を増やす方針であることから、販売台数の増加が見込める。新型コロナウイルス感染症発生以前の水準とまではいかないが、今後の回復が期待できる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・今後、メーカーからの納期が若干早まるとの情報があるため、売上が増えることになる。
	○	観光型ホテル（経営者）	・冬季シーズンとなり、インバウンドの予約が前年のゼロから改善していることなどから、今後の景気はやや良くなる。ただ、物価高の影響によりエネルギー、食材のコストが大きく上昇しているため、売上が増加しても、コスト増加分を吸収することが困難なことも考えられる。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・入国制限の緩和以降、外国人とみられる名前での予約が増えている。また、海外の旅行会社からの問合せも増えている。一方、国内客は全国旅行支援の終了予定日以降の予約数が落ち込んでいる。今後の宿泊客数については、微増ではあるものの、増加が期待できる。
	○	旅行代理店（従業員）	・現状の新型コロナウイルスの感染状況が収束し、全国旅行支援の再開なども期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
	○	旅行代理店（従業員）	・これまでの2年間旅行を我慢してきたことの反動が徐々に現れている。個人、団体共に問合せが増えていることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染の第8波が出口に向かうことで、旅行需要が再び回復することになる。
	○	旅行代理店（従業員）	・全国旅行支援の期間延長が予定されていることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	タクシー運転手	・例年、冬期間に入ると来客数が増える傾向にあるため、年末のイベントなどが予定どおりに開催されることになれば、景気はやや良くなる。
	○	通信会社（企画担当）	・学生向けの割引が始まっていること、新入学や新生活に向けた様々なイベントを予定していることから、今後の販売量の回復を期待している。
○	観光名所（従業員）	・インバウンドについて、現在は台湾からの利用が中心だが、インドネシアからの団体利用もみられ始めている。今後も行動制限や入国制限が行われなければ、これまでの個人客に加えて、団体客も期待できるようになる。このまま新型コロナウイルス感染症発生前の日常に回復していくことを期待している。	
□	商店街（代表者）	・物価高と新型コロナウイルスの感染再拡大によって、先の分からない状況となっている。	
□	商店街（代表者）	・燃料価格は落ち着き始めたものの、物価高による買い控え、出控え傾向は今後も継続することになる。また、客足が天候の良しあしによって強く影響を受ける時期であること、来年1月末で地元百貨店が閉店することもあるため、中心部を訪れる客は減少することになる。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔土産〕（経営者）	・北海道の冬の観光シーズンを迎えて、ウィンタースポーツや冬の有名イベントを目的とした観光客が訪れることになる。全国旅行支援の延長が発表されたこともあり、来客数はそれほど落ち込むことはないとみられる。新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加傾向に転じることも考えられるが、感染対策をした上で観光を楽しむことが一般的になっているため、影響はそれほどないとみられる。また、雪のシーズンはインバウンドの増加が期待できるため、全体的な底上げにつながると期待している。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増減と反比例する形で売上が推移しているため、今後の景気がどうなるかは新型コロナウイルスの感染状況次第である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・日本人による消費は新型コロナウイルス感染症発生以前の状況に近づきつつあるため、今後の景気はインバウンド、特に中国人観光客の動向によって左右されることになる。中国のゼロコロナ対策が緩和されることを期待している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売促進担当）	・年末に向けて人流が増えることが見込まれるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、インフルエンザのまん延も懸念されるため、景気はそれほど上向きにならない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類相当に変更されるなどの大きな変化がない限り、現状の小康状態が続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・今年は降雪の遅かった前年よりも更に降雪が遅くなっているが、長期予報では12月から2月は前年並みかそれ以上の大雪になるとみられている。不確定要素ではあるが、雪の状況によっては、交通機関のまひなども懸念されることから、商圈が広域な郊外型のモール店舗としては前年と同様の厳しい状況が見込まれる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・燃料代や除雪費がかさむ北海道の本格的な冬が到来することになるため、この先の消費動向については、現状と変わらず厳しいまま推移することになる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・エネルギーコストの上昇やメーカーによる値上げが一段落したことから、今後も現状と同じような景気のまま推移する。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・社会全体で給与所得が増え、消費が伸びれば、景気は良くなるが、そうはならないとみられる。また、給与が増えることになれば、自社の営業経費も増えることになるため、単純に経営が良くないという話でもない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減ってこないため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・主食系やデザートなどで、高単価の商材が売れていないことから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（エリア担当）	・現状、原材料価格の高騰が続くとみられていることから、食費以外の支出は相当抑えられることになる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・景気が上向きような材料が特にないことから、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（店長）	・今後も厳しい状況が続くとみられることから、客の消費行動が慎重になり、より最善な方法で購買するケースが増えることになる。そのため、今後も景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔造花〕（店長）	・今後も景気はほとんど変わらない。ただ、経営する立場としては、仕入状況の悪化が見込まれるため、利益が減少することが懸念される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・前月は先行きについて明るい見込みであったが、12月の予約状況が悪いことから一気に興ざめしてしまった。経済活動は徐々に上向くとみているが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加という爆弾と付き合いながらの営業となりそうだ。また、食材の値上がりが続く、利益が減っていること、人手が足りていないなか、人員増加が見込めないことなどから、やる気が出てこない状況にある。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・これから年末の繁忙期を迎えて、夜間の人出は増えると思われる。ただ、タクシーの乗務員不足の影響で4年前と比べると約30%乗務員が減少している。そのため、タクシー1台当たりの売上が新型コロナウイルス感染症発生前の水準に回復したとしても、乗務員が減っている分、タクシーの稼働が低下することになる。会社の売上はマイナス30%程度で推移することになる。

□	タクシー運転手	・今後については、新型コロナウイルス感染症の状況次第である。
□	タクシー運転手	・ここに来て新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるなか、客の動きは若干回復しつつあることから、今後も景気は変わらない。これから冬に向かって、どのような動きとなるか注視していきたい。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの新規感染者が増えているため、今後の景気はやや下向くことになる。
□	通信会社（エリア担当）	・携帯キャリアの戦略に左右される状況となっているため、今後の見通しが立たない。
□	観光名所（職員）	・全国旅行支援などの追い風により、来客数が増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の第8波の影響で行動制限などが行われると再び大きな影響が見込まれる。今後の動向を注視したい。
□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増減に余り左右されなくなっていることから、今後も同じような売上が続くことになる。
□	美容室（経営者）	・客の様子から、旅行に出掛けるなど、行動範囲が広がっている状況がうかがえるが、美容への消費がすぐに増えるとは思えないため、今後も景気は変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	・地価や建築コストの上昇がいまだに続いていることから、今後も景気は変わらない。
▲	商店街（代表者）	・物価が上昇していることで、切り詰めて生活するスタイルに変わってきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症への警戒が強まる懸念されるため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いてこなければ、前年並みの落ち込みとまではいかないにしても大きな影響が見込まれる。現在の落ち込みは年末年始商戦まで続きそうなことから心配が絶えない。今のところ、インバウンドの入込も関東や関西と比べると少なく、回復の兆しがみえない状況にある。
▲	一般小売店（経営者）	・仕入商品の納期が未定又は長期欠品のため、販売できたとしても売上計上できない状況にある。そのため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりが続くとみられるため、来客数、買上客数共に、減少傾向が見込まれる。また、物価高の影響が継続することで、客単価が低下することも懸念される。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢、物価高などの影響が見込まれることから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（役員）	・燃料代や電気代の値上げによる影響が大きく、客の節約志向がますます強まる懸念される。
▲	家電量販店（店員）	・特価商材が用意できないため、今後の景気はやや悪くなる。新製品は軒並み値上げされており、付加価値商材に客の目が向かないとみられる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・当社の業績は今のところ好調であるが、同業他社が苦戦していることから、今後、当社の業績も落ち込んでくることを懸念している。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まる気配がないなか、物価上昇の影響も加わることで、今後、消費意欲が減退することが懸念される。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・これから閑散期に向かうなか、全国旅行支援の反動で人出が減少するとみられるほか、新型コロナウイルスの感染再拡大によって、移動そのものを自粛することも考えられる。また、相次ぐ値上げにより景気が下向くことも懸念される。
▲	旅行代理店（従業員）	・全国旅行支援が終了した後、冬季の北海道観光が新型コロナウイルス感染症発生前と比べてどの程度回復するか懸念している。今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては観光消費マインドが低下することも考えられるため、先行きは不透明である。
▲	通信会社（エリア担当）	・ショップ削減の方向性が出ているため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	美容室（経営者）	・特に希望を持てるような材料がないため、今後の景気は冷え込むことになる。

	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・厳冬季を迎えて工事関連の需要が減少することになる。さらに、天候悪化による欠航なども見込まれるため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・建築価格の上昇に伴って、分譲マンションの販売価格も高騰しており、マンション需要が伸び悩んでいる。この状況はすぐに改善されることはないと考えられるため、今後の景気はやや悪くなる。早くインフレを抑え込むとともに、所得が上昇することを期待している。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・これまでの外出自粛などで抑えられていた旅行への願望と全国旅行支援の開始が観光需要を押し上げたが、新型コロナウイルス感染症の第8波の影響やインフルエンザの流行を懸念する動きがみられ始めている。また、新型コロナウイルスの新規感染者が全国最多という北海道の感染状況も収まっていないことから、今後、観光客が一気に減少するとみられる。
	×	スーパー（従業員）	・仕入価格や燃料価格の上昇、最低賃金の引上げなどの影響で、コスト構造の変化が大きく、利益低下にあらがえない状況にあることから、今後の景気は悪くなる。
	×	衣料品専門店（店長）	・実売期であるにもかかわらず来客数が落ち込んでいる。バーゲンセールを行ったとしても大きな集客が見込めず、前年割れの売上を覚悟して在庫処分しなければ体力が持たない状況となっている。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者が増えてくると段々と客足が悪くなる。これから景気が良くなるような材料もないため、しばらくは忍耐の時期になる。
	×	タクシー運転手	・今のところ、全国旅行支援による恩恵がみられない状況にある。今後についても、季節を考慮すると、売上には結び付かないとみられる。地元住民の外出自粛の意識はますます強まっており、消費行動を抑制していることから、今後の景気はやや悪くなる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・建売住宅が売れなくなっており、新築住宅も減っている。今までは受注残で売上を維持できていたが、これから先は相当厳しくなる。ただ、資材価格が徐々に下がり始めていることは明るい材料である。
企業動向関連	◎	—	—
(北海道)	○	家具製造業（経営者）	・為替の変動が良い方向に向かっていることから、今後の景気はやや良くなる。
	○	通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いているものの、経済活動を止めずに日常を過ごそうとする動きが強まっていること、感染対策への慣れ、政府の施策による下支えなどの複合要因によって、今後の企業及び個人の消費活動は一層活発になる。
	□	食料品製造業（従業員）	・見掛け上の売上は増えているが、それ以上のスピードで原材料価格、エネルギー価格、物流費などの値上げが続いている。利益の出ない状況が続いていることから、今後も景気は変わらない。
	□	食料品製造業（従業員）	・前回の価格改定から、販売量が減少した状態で安定しており、今後、急に販売量が増えることは考えにくい。
	□	建設業（役員）	・新型コロナウイルス感染症の第8波のなかにあっても、経済活動の回復が続いている。また、ゼロ国債工事についても例年並みの新規受注が期待できることから、今後も業績が順調に推移する見通しに変わりはない。建設資材の価格上昇圧力はあるものの、一部の資材において需給ひっ迫感が和らぐと見込まれることも明るい材料である。
	□	輸送業（営業担当）	・農産品関連製品の新品の入庫時期を迎えて、出庫や輸送が増えてきているが、一時的な動きになることが懸念される。一方、原材料関連は、上半期は調達を優先していたこともあって増量となったが、下半期はその分減少することが見込まれる。また、燃料価格の高止まり、電気料金の値上げが影響し、トレーラー運行、倉庫運営には相当のコストアップとなっており、輸送料金の改定を進めている。
	□	金融業（従業員）	・個人消費は消費者物価の上昇に賃金が追い付いていない。エネルギー価格の負担軽減のための政策支援はあるものの、これからエネルギー使用量の増加する冬に向かうことから、今後の道内景気は横ばい圏にとどまることになる。

	□	司法書士	・景気回復には賃金の上昇、物価の安定が欠かせないが、現状ではどちらも望めない。これ以上景気が悪化しないように早め早めの対策が行われることを期待している。
	□	司法書士	・これから冬期間に入ることから、観光や不動産売買などの取引が減少する時期となり、例年の傾向から、雪解けの時期まで低水準で推移することになる。原油高、資材価格の高騰、ウクライナ情勢など、不安要素も多いが、極端な景気の下降はないとみられる。
	□	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・今のところ、円安の影響は出ておらず、今後についても今までと変わらない状況が見通している。影響が出てくるのは来年度に入ってからとみられる。
	□	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・建設需要がしばらくは旺盛に推移するとみられるが、価格転嫁が進まない状況も続くとみられる。プラスとマイナスの面があるため、今後も景気は変わらない。
	□	その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・中心部の再開発、イベント再開などの好材料はあるものの、地方の動きに陰りが出始めていることから、プラスとマイナスが相殺され、ほぼ前年並みで推移することになる。
	□	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・良くなっている部分もあるが、悪くなっていく部分も見込まれるため、今後の景気は変わらない。
	▲	農林水産業（経営者）	・年末年始を過ぎると毎年同じような状態となることから、今後も景気は変わらない。春以降の動きに期待したい。
	▲	建設業（経営者）	・今後の新規受注は余り見込めない。また、例年のことではあるが、積雪寒冷時期を迎えて、除雪、採暖、地面の凍結、日照時間の減少などで生産性がかなり落ちることになる。完工に向けて設計変更の交渉、手続が重要になってくる。
	▲	建設業（従業員）	・かなり悪い状況であり、良くなるような傾向はみられない。一段と悪くなる可能性も否定できないが、景気後退に歯止めが掛かることを期待している。
	▲	輸送業（支店長）	・例年、冬期間の物流量は減る傾向にあるため、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・円安の影響もあって、様々な製品が値上がりしている。今後、更なる値上げが行われると客の購入意欲がそがれてしまうことも懸念される。
	×	金属製品製造業（従業員）	・新築戸建て住宅着工棟数が前年比で24%ダウンしていることが、今後に影響してくるとみられる。今のところ、この落ち込みが回復するような要素も見当たらない。
雇用 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・当地における月間有効求人数は1年7か月連続で前年を上回っており、全体としては回復の兆しがみられる。ただし、産業、業種によってその度合いは異なっており、今後の新型コロナウイルスの感染状況や経済活動、消費行動の状況によっては先を見通せない状態となることも懸念される。
	□	人材派遣会社（社員）	・物価上昇や買い控えなどの不安要素は多数あるが、企業においては、業績を落とさないためにも人材を採用し、営業の強化を図るとみられることから、今後も景気は変わらない。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少とともに採用活動も活発になるとみられるが、年末年始を挟むこともあり、現在の傾向はしばらく変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・原油価格や原材料価格の高騰、円安など、事業環境の悪化を招く要因は多いものの、今のところ、業況堅調な事業所からの求人もあって、新規求人数は増加している。また、新規求職者数も前年と比べて減少している。持ち直しの動きが続いていることから、今後も景気は変わらない。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・円安の動きに若干の落ち着きがみられるが、物価高と新型コロナウイルスの新規感染者数の増加によって、経済活動は弱含み傾向で推移していることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルス感染症の第8波の状況次第であるが、冬の観光シーズンに大きな影響が出ることを懸念している。また、物価高についても、各業界で徐々に悪影響が出始めていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	▲	職業安定所（職員）	・生活必需品の相次ぐ値上げ、円安、上がらない賃金など、景気が良くなる要素がない。
	×	—	—